



完成した柳沢団地集会所

緊急通報システムが配備され、高齢者世話付住宅入居者からの通報があった場合、即座の対応が可能となります



保育園民営化の方向性は

問 保育園の民営化の方策は。民営化された場合の削減額は。

答 行政改革主幹を中心に関係課で協議し、住民の意見も聞きながら平成十六年度中には方向性を決め、十七年度から実施したい。民営化による財政の削減効果は、現在検討している段階であり示せない。

問 図書館、郷土資料館の検討は。やる気があるのか。予算の問題か、必要性が無くなったのか。

答 必要性は充分に感じている。財源の問題もある。第八次発展計画策定の際に検討する。

町道織笠外山線の開通はいつか

問 織笠外山線の完成はいつか。

答 平成十六年度中に供用開始したい。

問 私道整備事業費の大幅な減額の理由は。

答 整備の要望が減ったわけではないが、厳し

い財政状況を考えての削減である。

山田町史(下巻)の発行はいつか

問 町史の下巻はいつ発行されるのか。

答 下巻は近代史となる。資料収集に苦慮している。原稿がそろい次第発刊作業に取りかかる。

問 学力向上プランの中身は。学力検査だけに力を入れると言うことか。

答 学力向上プランは学力をつける狭い意味だけのものではない。自分を

高齢化に伴う防災活動の取り組みは

問 高齢化による防災活動の重点は。

育てること、自分の将来を考えること、生活習慣を身につけること、クラスの友達づくりを中心として、学力を向上させていこうとするものである。

答 高齢者にはヘルパーと協力して防災指導を行っている。近隣で助け合う地域防災力を高める活動を行っている。

消防団だけで門扉閉鎖の対応ができるか

問 消防団だけで門扉の閉鎖が可能か。自主防災組織の立ち上げが必要ではないか。

答 門扉は百二十四基ある。団員だけで全てを閉めるのは大変である。自主防災組織とするか、消防OBとするか、公務災害の問題もクリアする必要がある。地域防災計画の中でさらに検討したい。

問 消防団が行う門扉点検を日曜にできないか。各分団、関係課、県と協議し検討したい。

答 消防団が行う門扉点検を日曜にできないか。各分団、関係課、県と協議し検討したい。



消防団による門扉閉鎖（平成15年の防災訓練から）

特別会計

山田病院の病床数削減の対応策は

問 県立病院の病床が減ることにより、介護施設への入所希望者が増えるのではないか。その対応は

答 可能なか。病床が縮小されると満床の状態になり緊急の場合に対応できないのではと危惧している。スムーズに対応できる体制がとられるよう、これからも要望していく。施設を増やすことは国の基準もあり難しいが現状を訴えていく必要がある。

問 国保税の未納者に交付している短期被保険者証は一カ月更新と聞く。利用者にとって不便ではないか。

答 この保険証は税収を上げるための有効な手段である。国保財政を維持するために必要と考える。

シヨートステイの対応は施設待機者の数は

問 施設でのシヨートステイへの対応は。また、希望しているが、施設に入れない待機者の数は。

答 待機者が多く、シヨートステイの枠が取れないのが現状である。緊急を要する場合は優先的に利用できるよう、考える必要がある。

問 施設待機者の数は、入所希望者が十五人、介護老人保健施設が三十三人、合計で四十八人となっている。

高齢者介護負担軽減のグループホーム実現は

問 グループホーム開設の準備を進めている所がある。グループホームは災害弱者対策にもつながることである。開設時期など、どのような状況で進んでいるか。

答 民間企業から十六年度中には開設したい申

織笠漁業集落環境整備事業は中止されたのか

問 織笠漁業集落排水事業の予算科目が廃目となった。事業は中止か。

答 平成十五年度から事業はスタートしたが、財政が厳しいために道路や排水路整備を優先実施し、下水道は数年間休止する。

問 下水道の排水設備普及率と水洗化率は。

答 普及率は大浦九八%、大沢四〇%、船越三四%、田の浜三六%である。

問 水洗化率は大浦七四%、大沢四〇%、船越三四%、田の浜三六%である。

水道料金の改定を考えているか

問 水道事業は一定の利益もあがっているようであるが、水道料金の改定を考えているか。

答 平成二十年度までは改定せず、このまま進

③③③…痴呆性老人グループホーム

痴呆性高齢者が、少人数を単位として共同生活を行い、食事の支度や掃除、洗濯などをスタッフと共同で行い、家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活することにより、痴呆症状の進行を穏やかにし、家庭介護の負担を軽減することにあります。

4日間に及んだ予算特別委員会

